

## ■ 平成29年度の現状と主な取組について

### 1 平成29年度の現状

#### ① 月別患者数 目標達成状況

1月当たりの目標数（平均）は、入院患者を5,834人（1日当たり191.8人）、外来患者を7,218人としています。

入院患者			入院患者（1日当たり）			外来患者		
年目標数	70,005人		目標数	191.8人		年目標数	86,620人	
月別患者数		達成率	月別1日当たり患者数		達成率	月別患者数		達成率
4月	5,486	95.4%	4月	182.9	95.4%	4月	6,479	90.8%
5月	5,609	94.3%	5月	180.9	94.3%	5月	6,607	92.6%
6月	5,850	101.7%	6月	195.0	101.7%	6月	6,989	89.1%
7月	6,300	106.0%	7月	203.2	106.0%	7月	6,718	94.2%
8月	5,932	97.8%	8月	191.4	97.8%	8月	7,263	92.6%
9月	5,827	101.3%	9月	194.2	101.3%	9月	6,768	94.9%
月累計目標数	35,094人		月累計目標数	191.8人		月累計目標数	44,214人	
月累計実績	35,004	99.7%	月累計実績	191.3	99.7%	月累計実績	40,824	92.3%

前年比

前年比

前年比

前年同期実績	32,219	108.6%	前年同期実績	176.1	108.6%	前年同期実績	38,622	105.7%
--------	--------	--------	--------	-------	--------	--------	--------	--------

#### ② 月別医業収益（税抜） 目標達成状況

1月当たりの目標額（平均）は、入院収益を207,747千円、外来収益を70,393千円、入院・外来の合計を278,140千円としています。

入院収益			外来収益			入院・外来収益計		
年目標額	2,492,962千円		年目標額	844,714千円		年目標額	3,337,676千円	
月別医業収益		達成率	月別医業収益		達成率	月別医業収益		達成率
4月	212,150	103.5%	4月	58,009	83.8%	4月	270,159	98.5%
5月	198,283	93.6%	5月	62,390	90.1%	5月	260,673	92.8%
6月	221,662	108.2%	6月	64,059	84.1%	6月	285,721	101.7%
7月	222,308	105.0%	7月	58,582	84.6%	7月	280,890	100.0%
8月	214,369	101.2%	8月	66,442	87.2%	8月	280,811	97.5%
9月	219,985	107.4%	9月	65,221	94.2%	9月	285,206	104.0%
月累計目標額	1,249,896千円		月累計目標額	427,572千円		月累計目標額	1,677,468千円	
月累計実績	1,288,757	103.1%	月累計実績	374,703	87.6%	月累計実績	1,663,460	99.2%

前年比

前年比

前年比

前年同期実績	1,123,837	114.7%	前年同期実績	361,171	103.7%	前年同期実績	1,485,008	112.0%
--------	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	-----------	--------

平成29年度上半期の患者数、収益の状況については次のとおりです。

患者数は、目標と比較すると、入院患者数は90人少なく（1日当たり0.5人）、達成率は99.7%、外来患者数は3,390人少なく、達成率は92.3%となっています。前年同期と比較すると、入院患者数は2,785人（8.6%）の増加、外来患者数は2,202人（5.7%）の増加となっています。

次に、収益については、目標と比較すると、入院収益は38,861千円多く、達成率は103.1%、外来収益は52,869千円少なく、達成率は87.6%となっています。この結果、入院・外来収益の合計では14,008千円少なく、達成率は99.2%となっています。前年同期と比較すると、入院収益は164,920千円（14.7%）増加し、外来収益は13,532千円（3.7%）の増加となり、入院・外来収益の合計では、178,452千円（12.0%）の増加となっています。

### ③ 一般会計からの繰入金の状況

一般会計からの繰入金については、前年度の決算額等を基礎に算定されています。平成27年度から減価償却費等の費用の大幅な減少があったため、繰入金の対象となる精神科及びリハビリテーション医療の運営に係る費用と収益の差も縮小したことから、平成29年度決算見込額は、計画値より58,199千円少ない649,873千円となっています。これは、前年度の決算額と比較すると、32,093千円（5.2%）増加となる見込みです。

（千円）

区 分	H29計画額	H29決算見込額	H28決算額
収益的収入	388,008	324,955	302,217
資本的収入	320,064	324,918	315,563
合 計	708,072	649,873	617,780

## 2 平成29年度の主な取組

第3次経営改善計画の3つの基本方針ごとの重点的取組事項等は次のとおりです。

### (1) 患者中心の医療の推進

- ① 地域包括ケア病棟の運用、NSTやがん患者・家族支援チーム等によるチーム医療を推進し、当院に求められる医療ニーズに対応した取組を継続しています。
- ② 消化器・栄養センターを開設し、消化器内科・外科の連携を強化するとともに、栄養士等も含めた院内の多職種のスタッフによるチーム医療を提供し、高齢化により増加が予想されるサルコペニア並びにその予備軍と考えられる対象者を早期発見し、内科・整形外科等の臨床的な介入をすすめてまいります。
- ③ 救急患者の受入について、外部からの非常勤医師を確保し、内科系医師と外科系医師を中心とする新たな宿日直勤務体制に見直し、積極的に行っております。今後とも救急

体制の充実を図ってまいります。

- ④ 保健衛生行政に対して医療面から支援する各種健診事業を実施しています。また、胃がん検診をX線検査と内視鏡検査から選択できるようにしたり、乳がん健診を女性スタッフが行うようにするなど、より受診しやすい環境づくりに努めています。
- ⑤ 電子カルテ，クリニカルパスを活用し，インフォームド・コンセントの充実を図っています。
- ⑥ VOIS報告（自発的情報提供システム）の徹底，医療事故防止マニュアルの励行により安全な医療の確保に努めています。
- ⑦ ご意見箱を設置し患者からの意見等を積極的に病院運営に取り入れています。
- ⑧ 派遣研修，院内研修を行い職員の資質向上に努めるとともに，外部講師による接遇研修等により職員全体の接遇力の向上を図っています。

## (2) 地域医療連携の推進

- ① 地域包括ケアシステム構築へ貢献する地域包括ケア病棟を60床で運営し，患者の在宅復帰支援，地域医療機関への支援の充実を図っています。
- ② 逆紹介率の向上を通じて地域のかかりつけ医との連携を強化しています。
- ③ ホームページの充実，広報もりおかの活用など市民への情報提供の推進を図り，当院の医師のプロフィールや診療内容等が分かる「診療案内」や当院の最新の情報をお知らせする「地域医療連携だより」を地域の医療機関等に提供しています。
- ④ 院長，診療科医師による開業医等への訪問を実施し，必要があれば入院等の支援を行うことをPRしています。また，移動が困難な施設利用者のために当院の患者輸送車による無料の移送サービスを行っています。
- ⑤ 地域への啓発活動の一環として，「市立病院デー」を開催したほか，出前講座に職員を講師として派遣しています。
- ⑥ 地域の在宅医療を提供している医療機関を支援するため，在宅療養後方支援病院の拡大を図るとともに，土曜日の開業医等からの紹介入院患者の受け入れを行っています。

## (3) 経営改善の推進

- ① 各診療科やコメディカル単位などで部門を設定し，それぞれがアクションプランを作成し，部門相互に取組への協力や進捗管理を行っています。進捗状況については，毎月の院内連絡会議で院内に周知するほか，年2回報告会を開催し部門ごとに取組を発表しています。
- ② 関係機関との情報交換や連携，医師の紹介業者の活用等により医師の確保に努めています。また，新たに開設した泌尿器科による腎・尿路系の結石除去技術の情報の普及拡大を図ります。さらに，消化器内科や呼吸器内科の医師を確保し，医療体制の充実を果

たしてまいります。多くの疾患を合併する高齢者に対応すべく総合内科の診療を開始しました。

- ③ 盛岡保健医療圏における、医学部卒後研修への協力とともに、病院機能充実と院内医師の自己啓発を積極的に支援するため、基幹型臨床研修病院の指定を目指し、臨床研修医の受入を推進します。
- ④ 医療・介護の同時の報酬改定となる平成30年度を念頭に置きつつ、地域医療構想への対応も考慮しながら、地域で必要とされる医療の確保に向けた取組を進めていきます。
- ⑤ 職員全員が効率的な業務をするよう工夫し、看護助手等の採用も含めて時間外勤務の削減に努めています。
- ⑥ 施設の老朽化に対応するため、長寿命化の計画の作成作業を行っていきます。また、需要が拡大している内視鏡による検査・治療に対応するため、内視鏡室の拡充を中心とした院内のリニューアルを推進します。
- ⑦ 医療機能の維持や精度の向上のため、医療機器の計画的な購入に努めています。
- ⑧ 外部経営コンサルタントを採用し、具体的な提言を受けながら経営改善の推進に活用しています。
- ⑨ 市立病院経営評価委員会による経営改善計画の点検・評価のもと、着実な計画推進に努めています。